

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成26年2月6日(2014.2.6)

【公表番号】特表2013-514853(P2013-514853A)

【公表日】平成25年5月2日(2013.5.2)

【年通号数】公開・登録公報2013-021

【出願番号】特願2012-545497(P2012-545497)

【国際特許分類】

A 6 1 B 5/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 5/00 1 0 2

【手続補正書】

【提出日】平成25年12月13日(2013.12.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

センサアレイを有するセンサシステムであり、前記センサアレイは、基板層と所望のパラメータを測定する複数の個々の第1のセンサ素子とを有し、第1のセンサ素子は、前記基板層の上に配されてセンサ面を規定する、当該センサシステムであって、

前記センサアレイは、他の所望のパラメータを測定する1つ又はそれ以上の第2のセンサ素子を更に有し、当該センサシステムは、前記1つ又はそれ以上の第2のセンサ素子からのセンサデータに依存して前記第1のセンサ素子からのセンサデータを処理し、

前記第1のセンサ素子からのどのセンサデータが無視されるかを決定するため、前記1つ又はそれ以上の第2のセンサ素子からのセンサデータを使用する、当該センサシステム。

【請求項2】

前記第1のセンサ素子からのセンサデータを較正するため、前記1つ又はそれ以上の第2のセンサ素子からのセンサデータを使用する、請求項1記載のセンサシステム。

【請求項3】

前記第1のセンサ素子からのセンサデータを受け取る第1の入力部及び前記第2のセンサ素子からのセンサデータを受け取る第2の入力部と、前記1つ又はそれ以上の第2のセンサ素子のセンサデータに依存して前記第1のセンサ素子のセンサデータに基づいて出力信号を与える出力部とを備えた制御ユニットを有する、請求項1記載のセンサシステム。

【請求項4】

前記センサアレイが、フレキシブル大面积センサキャリアである、請求項1ないし3のいずれか一項に記載のセンサシステム。

【請求項5】

前記第1のセンサ素子又は前記1つ若しくはそれ以上の第2のセンサ素子が感圧素子を有する、請求項1ないし4のいずれか一項に記載のセンサシステム。

【請求項6】

前記第1のセンサ素子又は前記1つ若しくはそれ以上の第2のセンサ素子が加速度計を有する、請求項1ないし5のいずれか一項に記載のセンサシステム。

【請求項7】

前記第1のセンサ素子又は前記1つ若しくはそれ以上の第2のセンサ素子が温度センサ

を有する、請求項 1 ないし 6 のいずれか一項に記載のセンサシステム。

【請求項 8】

各第 1 のセンサ素子が、好ましくは前記第 1 のセンサ素子と空間的に関係がある関連する第 2 のセンサ素子を有する、請求項 1 ないし 7 のいずれか一項に記載のセンサシステム。

【請求項 9】

前記センサアレイの外側形状に従う形状を形成している複数の第 2 のセンサ素子が与えられた、請求項 1 ないし 8 のいずれか一項に記載のセンサシステム。

【請求項 10】

前記センサアレイの外側形状内に複合的な形状を形成している複数の第 2 のセンサ素子が与えられた、請求項 1 ないし 9 のいずれか一項に記載のセンサシステム。

【請求項 11】

前記複合的な形状が同心性である、請求項 10 記載のセンサシステム。

【請求項 12】

センサシステムからのセンサデータを処理する方法であって、前記センサシステムは、所望のパラメータを測定し、第 1 のセンサ面を規定する複数の個々の第 1 のセンサ素子と、更なる所望のパラメータを測定する 1 つ又はそれ以上の第 2 のセンサ素子とを備えたセンサアレイを有し、前記第 1 のセンサ素子からのセンサデータは、前記 1 つ又はそれ以上の第 2 のセンサ素子からのセンサデータに依存して処理され、

前記 1 つ又はそれ以上の第 2 のセンサ素子からのセンサデータは、前記第 1 のセンサ素子からのどのセンサデータが無視されるかを決定する、当該方法。

【請求項 13】

前記 1 つ又はそれ以上の第 2 のセンサ素子からのセンサデータが、前記第 1 のセンサ素子からのセンサデータを較正するために用いられる、請求項 12 記載の方法。

【請求項 14】

前記 1 つ又はそれ以上の第 2 のセンサ素子からのセンサデータが前記センサアレイの向きを決定し、前記第 1 のセンサ素子からのセンサデータが前記センサアレイの前記向きに基づいて解釈される、請求項 12 又は 13 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 15】

前記 1 つ又はそれ以上の第 2 のセンサ素子が温度センサを有し、前記 1 つ又はそれ以上の第 2 のセンサ素子からのセンサデータが、前記第 1 のセンサ素子からのどのセンサデータが生体に関連し、どのセンサデータが非生物に関連しているかを決定するために用いられる、請求項 12 ないし 14 のいずれか一項に記載の方法。